

2018 年度中京大学入学式祝辞

学校法人梅村学園総長・理事長
梅村 清英

春爛漫のこのよき日に、中京大学の学部並びに大学院研究科の入学式を迎えました。学校法人梅村学園を代表して、ご挨拶申し上げます。入学生の皆さんには心よりの祝意とともに歓迎の意を表します。また、ご列席の保護者の皆さま方には謹んでお慶び申し上げます。

皆さんは全国各地から中京大学に集い、大学での学びを中心にした新たな生活が始まります。皆さんの出身地域は様々です。それぞれの興味や関心も違うでしょう。色々な仲間と出会い、勉学や部活動などを通じて学び合い、刺激し合い、自分を磨いてください。そして個性を伸ばしてください。

中京大学は11学部11大学院研究科を擁する総合大学です。様々な学びの機会が用意され、多彩な学問領域を備えています。この「知の殿堂」の門を叩いたことに誇りを持ち、有意義な学生生活を送ってください。

本学は1954年に短期大学として開学し、2年後に四年制大学となりました。校訓は「真剣味」、建学の精神は「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」です。中京大学の創立者であり、初代学長の梅村清明先生は、理念を次のように説きました。「学術の場では学術の研鑽と共にジェントルマンシップ、レディシップを醸成陶冶する」。すなわち、学問に真剣に取り組むとともに、人格を磨くことの大切さを示しました。

この建学の精神を深めることで本学は発展を続け、14年前の2004年に現在の11学部11大学院研究科の体制となりました。短大時代の最初の入学者は75人でしたが、近年は3000人前後の入学が続いています。卒業生は約13万人に上り、社会のあらゆる分野で活躍しています。

建学の精神を一層深化させるため、2014年に策定した長期計画「NEXT10」に基づき、教育力や研究力の向上、社会連携、国際化、卒業生連携を強化する様々なプロジェクトを進めています。教育の目標は「自ら考え、行動することのできる、しなやかな知識人の育成」です。

名古屋キャンパスは、開学60周年の節目に竣工した本部棟、図書館・学術棟、開学40周年記念で建設したセンタービルなどが威容を誇っています。豊田キャンパスは、広大で緑豊かな中に陸上競技場やスイミングプールなどのスポーツ施設が整備されています。スポーツ施設群は全国の大学でも有数の規模です。この2月には新体育館が完成し、その2階にはスポーツ・ミュージアムが来年夏にオープンします。

開学以来、数多くのトップアスリートを育成してきました。今年2月の平昌オリンピックでは、学園関係の5選手が活躍しました。スポーツ科学部の宇野昌磨選手は、男子フィギュアスケートで見事に銀メダルを獲得しました。同じくスポーツ科学部の堀島行真選手も、男子モーグルで決勝に進出し、帰国後、日本で開催された世界選手権で2連勝しました。また、高校生として平昌オリンピックを経験した2人の選手が皆さんと一緒に入学します。フィギュアスケートのペアで団体5位入賞に貢献した、中京大学附属中京高校出身の須崎海羽選手と、ショートトラックの男子5000メートル・リレーに出場して7位入賞した、名古屋経済大市邨高校出身の吉永一貴（かずき）選手です。こうしたオリンピックをはじめ、学生アスリートたちの今後の活躍に期待し、ぜひ応援してください。

さて、ここで国内外の政治、経済、社会の動きに目を転じましょう。アメリカのトランプ大統領は、アメリカ第一主義を掲げ、環太平洋連携協定（TPP）交渉から離脱、北米自由

貿易協定（NAFTA）は再交渉を始めるなど、保護主義的な姿勢を強めています。貿易摩擦に発展する可能性もあります。一方で、北朝鮮の核問題はまだ解決が見通せません。

日本経済は、高度成長期の「いざなぎ景気」を超える景気拡大が続いています。来年の年明けまで景気拡大が続くと、戦後最長となります。この地域は、トヨタ自動車をはじめ自動車産業を中核にした、世界的なモノづくり拠点です。電気自動車、自動運転技術の開発など技術革新も活発です。2027年には東京―名古屋間を40分で結ぶリニア中央新幹線の開業が予定されています。リニア開通を見越した地域づくりが大きなテーマになっています。愛知県の人口は、戦後一貫して増加を続けています。全国的にも活力にあふれた地域と言えるでしょう。

日本の来るべき社会とはどんな社会でしょうか。日本はIoT（インターネット・オブ・シングス）やAI（人工知能）の技術をより高度に発達させた「超スマート社会」を目指しています。「狩猟社会」「農耕社会」「工業社会」、現在の「情報社会」に続く、5番目の新たな経済社会です。それは「Society 5.0」と呼ばれ、現実の世界と仮想的データ空間を融合させ、人々に豊かさをもたらす、人間中心の社会が到来するとされています。その実現に向けたポテンシャルをこの地域は持っています。皆さんが世の中に出て活躍する社会が今後どのようなようになるか、関心を持ち、自分が進むべき方向を考えてください。

本学を運営する梅村学園は、1923年の中京商業学校（現在の中京大学附属中京高等学校）の開校を始まりとしています。5年後の2023年には、学園創立100周年を迎えます。その翌年の2024年には中京大学は開学70周年を迎えます。梅村学園、中京大学の歴史は、時代や社会の要請に応え、質の高い教育を実践するため、改革を続けてきた歴史と自負しています。これからは、改革の歴史に加え、新たな価値を創り出す「創造」に挑んでいきます。「改革」から「創造」へ。梅村学園、そして中京大学は歩みを止めません。

皆さんはこれから始まる学生生活に、「高い志」を持ち、怠ることなく、常に校訓「真剣味」で臨んでください。広く、深く学びながら、人脈をつくってください。教職員一同、皆さん一人ひとりの成長を全力で支援していきます。本日はご入学誠におめでとうございます。ご健闘を心より祈念して祝辞と致します。